

【論文】

1. Higashida-Konishi M, Akiyama M, Hama S, Oshige T, Izumi K, Oshima H, Okano Y. Successful treatment of PR3-ANCA-positive interstitial pneumonia with a moderate dose of glucocorticoid and rituximab. Mod Rheumatol Case Rep. 2023 Dec 29;8(1):137-140.
2. Higashida-Konishi M, Akiyama M, Shimada T, Hama S, Oshige T, Izumi K, Oshima H, Okano Y. Aseptic meningitis as an initial manifestation of primary Sjögren's syndrome. Mod Rheumatol Case Rep. 2023 Jun 19;7(2):388-393.

【学会・研究会発表】

1. Higashida-Konishi M, Izumi K, Hama S, Oshige T, Oshima H, Okano Y. Characteristics of hydroxychloroquine allergy. World Allergy Symposium. Hawaii, USA, May 18-21. 2023.
2. Higashida-Konishi M, Izumi K, Hama S, Oshige T, Oshima H, Okano Y, Suzuki K. Underlying diseases and chief complaints of patients positive for anti-centromere antibodies. 25th Asia-Pacific League of Associations for Rheumatology Congress, Chiang Mai, Thailand, Dec. 7-12. 2023.
3. Suzuki K. Multi-omic molecular profiling of immune-mediated inflammatory diseases. FOCIS 2023 Member Society Symposium Japanese Society of Clinical Immunology (JSCI), FOCIS 2023, Boston, USA, Jun. 20, 2023
4. 小西美沙子, 秋山光浩, 羽磨智史, 大重達寛, 泉啓介, 大島久二, 岡野裕. リツキシマブが奏功した PR3-ANCA 陽性の間質性肺炎の一例. 第 67 回日本リウマチ学会学術集会, 福岡, 2023 年 4 月 21 日
5. 田畑広樹, 大重達寛, 羽磨智史, 小西美沙子, 泉啓介, 大島久二, 岡野 裕. メボリズマブで寛解が得られた心筋炎合併好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) の一例. 第 67 回日本リウマチ学会学術集会, 福岡, 2023 年 4 月 22 日
6. Hama S, Izumi K, Tabata H, Konishi M, Oshige T, Oshima H, Okano Y. Clinical features of motor neuropathy associated with eosinophilic granulomatosis with polyangiitis. 第 67 回日本リウマチ学会学術集会, 福岡, 2023 年 4 月 23 日
7. 鈴木勝也. 教育講演 1 関節リウマチ治療における分子的寛解. 第 44 回日本炎症・再生医学会, 大阪, 2023 年 7 月 12 日
8. 泉 啓介. SaMD 開発におけるデータ活用の課題とデジタルバイオマーカーの開発の実践的取り組み. 第 14 回日本製薬医学会年次大会, 東京, 2023 年 7 月 28 日

9. 田畑広樹, 大重達寛, 東條誠也, 松永崇宏, 羽磨智史, 小西美沙子, 泉啓介, 大島久二, 岡野裕, 鈴木勝也. 好酸球増多症にステロイド不応性の血小板減少を合併し診断、治療に難渋した1例. 第689回日本内科学会関東地方会, 東京, 2023年9月16日
10. 鈴木勝也. シンポジウム1 マルチオミックスからみるプレシジョンメディシンー患者層別化の現状と課題ー. 第38回日本臨床リウマチ学会, 北九州, 2023年11月18日
11. 大重達寛, 田畑広樹, 羽磨智史, 小西美沙子, 泉啓介, 岡野裕, 大島久二, 鈴木勝也. 当院における関節リウマチ患者の高齢化とリウマチ治療の実際. 第38回日本臨床リウマチ学会, 北九州, 2023年11月18日
12. 鈴木勝也. シンポジウム17 早期リウマチにおける血清学的変化～早期診断に向けた血清マーカーへの期待～. 第38回日本臨床リウマチ学会, 北九州, 2023年11月19日
13. 中嶋 慧悟, 小西 美沙子, 田畑 広樹, 羽磨 智史, 大重 達寛, 泉 啓介, 岡野 裕, 大島 久二, 鈴木 勝也. COVID-19感染後に抗MDA5抗体陽性間質性肺炎と自己免疫性溶血性貧血を発症した1例. 第38回臨床リウマチ学会, 北九州, 2023年11月19日
14. 泉 啓介. ウェアラブル・IoT機器を用いたデジタルバイオマーカー開発の実践的取組み～関節リウマチAMED研究等の実際～. 第43回日本医療情報学連合大会、第24回日本医療情報学会学術大会. 神戸. 2023年11月25日
15. Suzuki K. Symposium 8 Autoimmune Disease and Systems Immunology: Multi-omic molecular profiling of immune-mediated inflammatory diseases JSI-JCR Joint Session. 第52回日本免疫学会学術集会, 千葉. 2024年1月28日
16. 織部峻太郎, 大重達寛, 田畑広樹, 羽磨智史, 小西美沙子, 泉啓介, 岡野裕, 大島久二, 鈴木勝也. IgG4関連疾患様の肝障害を呈したシェーグレン症候群の一例. 第693回日本内科学会関東地方会, 東京, 2024年2月10日

【講演】

1. 鈴木勝也. マルチオミックス解析法によるRA病態解析. JAK Frontier in Nagasaki, 長崎, 2023年4月6日
2. 鈴木勝也. 関節リウマチマネジメントとバイオシミラーの今後を見据えて. ヴィアトリスWeb講演会, 東京, 2023年6月14日
3. 鈴木勝也. 当センターにおける関節リウマチ診療について～フィルゴチニブへの期待を含めて～. 関節リウマチセミナーin目黒世田谷, 東京, 2023年7月25日
4. 鈴木勝也. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の概要. EGPA Management Webinar, 東京, 2023年7月25日
5. 鈴木勝也. 関節リウマチマネジメントとバイオシミラーの今後を見据えて. 第490回八戸地区病院薬剤師会薬学例会, 八戸, 2023年8月21日
6. 鈴木勝也. 病院の立場から考えるリウマチ性疾患における病診連携の重要性. リウマチ膠原病連携セミナー～病診連携について考える. 東京, 2023年9月12日
7. 鈴木勝也. 関節リウマチの病因・病態と基礎研究のトピックス. Rheumatoid Arthritis Linker Meeting. 東京, 2023年9月21日
8. 鈴木勝也. リウマチ治療のUP TO DATE. Orthopedic Festa 2023, 東京, 2023年12月5日

9. 鈴木勝也. IL-6 シグナル阻害療法の理論と実践. 世田谷・玉川リウマチ膠原病病診連携の会, 東京, 2023 年 12 月 12 日
10. 鈴木勝也. Opening Remarks. 城南 CTD 講演会, 東京, 2023 年 2 月 2 日

【その他】

座長

1. Suzuki K. International Concurrent Workshop 6 Biologics JAK-2 第 67 回日本リウマチ学会学術集会, 福岡, 2023 年 4 月 21 日
2. 鈴木勝也, 松下雅和 ワークショップ 61 自己免疫疾患の検査・自己抗体 第 67 回日本リウマチ学会学術集会, 福岡, 2023 年 4 月 22 日
3. 泉 啓介. プログラム医療機器開発におけるウェアラブル・デバイスデータ活用の課題とデジタルバイオマーカー開発の実践的取組み. 第 82 回日本公衆衛生学会総会. つくば. 2023 年 10 月 31 日